

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第6学年 児童質問紙

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 自尊意識や規範意識に関する質問の肯定的回答率は高い。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」「人の役に立つ人間になりたい」などの質問での肯定的回答率が高い。
- 将来の希望をもつ児童の割合も非常に高い。
- 家庭学習については、自分で計画を立て、宿題や予習・復習が行えており、学習時間も県や全国の平均より長い傾向が見られる。
- 算数や理科についての好き嫌い・必要性・関心・意欲などについての質問に対しては、肯定的回答率は高いが、「将来、理科や科学技術に関する仕事に就きたい思いますか」の質問に対しては、県や全国の結果と同様に低い。
- 地域の大人と関わったり、ボランティア活動に参加したりしていると回答した児童の割合が県や全国の平均より低い。総合的な学習などで地域の方々から学ぶ活動を積極的に取り入れたり、ボランティアについての意識を高める働きかけをしたりしていく。
- 新聞を読まずにインターネットやスマートホンなどから情報を得ている児童の割合が多い。国語や社会などの学習で新聞を活用したり、インターネットやスマートホンの利用については、情報モラル教育を充実させたりする。

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

| 重点的な取組               | 取組の具体的な内容  | 取組に関わる調査結果   |
|----------------------|--|--|
| 文章の内容を正しく捉える力を育てる取組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジタイム(朝の学習)での担任+1人体制での指導(MIM・文法・音読・漢字)。</li> <li>・新出漢字の指導の工夫(学校で統一されたカードを活用し、児童が漢字の先生となり、読み方や書き順、漢字の使い方などを説明する。)</li> <li>・国語の「読む力」を育てるための校内研修</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生の国語Aの「言語についての知識・理解・技能」の中で、漢字を文の中で正しく使うこと、慣用句の意味の理解、敬語の正しい使い方における平均正答率は全国平均と比べると高いものとなっているが、文法の問題に関しては、低い結果となっている。</li> <li>・登場人物の心情について、情景描写を基に捉える設問が全国平均より上回っている。</li> </ul> |
| 家庭学習の習慣化に向けた指導の取組み   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「家庭学習のてびき」をもとに、学年に応じた家庭学習の仕方を指導している。4年生以上は「自主学習ノート」を用いて、学年に応じた内容や目安の時間を意識させて取り組めるよう指導している。保護者会においても家庭学習を話題にし、協力を依頼している。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平日や休日、目安となる時間家庭学習に取り組んでいる6年生は約90%である。</li> <li>・いつも「計画を立てて学習に取り組んでいる」と回答した6年生の割合は、全国平均よりも20ポイント上回っている。</li> </ul>  |